

1. 内政

- ・8日、自由民主党は、第6回党大会を開催し、党首にフィリト現党首を再選出。
- ・11日、議会は、レアンカ首相がEUとの連合協定に仮署名したことから共産党が5日に提出した同内閣不信任案を否決。
- ・13日、政府は、国会議員の免責特権の制限に関する憲法改正法案を承認。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・12日、国家統計局は、2013年1～10月期の貿易赤字が対前年同期比1.4%増の25億米ドルに達した、輸出額は同10.6%増の19億5,000万米ドル、輸入額は同5.2%増の44億5,000万米ドルとなった旨報告。

3. 外政

▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相のカナダ訪問

- ・12日、カナダを訪問したゲルマン副首相兼外務・欧州統

合相は、オタワにおいてベアード外相と会談。両外相は、両国間の緊密で堅固な協力を確認し、経済、貿易及び投資関係、モルドバの欧州統合路線及び沿ドニエストル問題等に関し協議。ベアード外相は、オタワへのモルドバ大使館の開設を歓迎。また、両外相は、ウクライナの状況に関しても協議し、ウクライナ国民の平和な集会の権利を支持するとし、与野党間の対話による問題解決を呼びかけ。

- ・12日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ファスト国際貿易相と会談し、両国間貿易及び投資の拡大の可能性等に関し協議。

▼その他

- ・10日、欧州議会は、EUへのモルドバ産ワインの輸入自由化を承認。
- ・11日、レアンカ首相は、ポンタ・ルーマニア首相と電話会談を実施。ポンタ首相は、ルーマニア政府は2014年2月よりシェンゲン査証を持つモルドバ国民の無査証でのルーマニアへの入国を認める決定をした旨伝達。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)